

岡山大学大学院社会文化科学研究科
国際ワークショップ（法学系）

< 現代の権力論と人権 >

2010年2月13日（土） 14:00 - 18:40

法学部会議室（2号館2階）

< 趣 旨 >

現代社会において個人はさまざまな「権力」と対峙する。人権（基本的人権・基本権）は、伝統的にはまず国家との関係においてとらえられ、国家権力の介入に対する個人の自由ないしは市民社会の自律の砦と観念されてきた。こうした対国家的人権の重要性は尚も減少はしていないが、現代社会において法理論上も法実務上も重要性を増している課題は、国家とは異なる権力主体との関係において人権をどのように理論的に基礎付け、実際に保障していくかである。たとえば、わが国においても、大企業を典型とした社会的権力による人権侵害はすぐれて現代的な問題であると理解され、この問題をめぐって憲法解釈技法はさまざまな洗練をみせている。また、ヨーロッパ共同体の成立は、超国家的権力の登場を意味し、これまでの法理論・法実務の基本的枠組に重大な反省を迫っているように見える。

そこで、本ワークショップでは、「現代の権力論と人権」と題して、現代社会における人権の意義と課題について議論を深めたい。法学的な人権原理論、憲法的な権利保障論、制度論的な実効的人権救済論など、さまざまな角度から人権論を多面的に論じていきたい。

< プログラム >

開会の辞（14:00-14:10）

荒木 勝 氏（岡山大学大学院社会文化科学研究科長）

第1部 中国における権力と人権（14:10-15:30）

報告者：劉 紅臻 氏（吉林大学・中国）

第2部 EUにおける権力と人権（15:40-17:00）

報告者：パトリック ドラ 氏（ストラスブール政治学院・フランス）

第3部 日本における権力と人権（17:10-18:30）

報告者：吾妻 聡 氏（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

閉会の辞（18:30-18:40）

荒木 勝 氏

主 催：岡山大学大学院社会文化科学研究科（学内COE）
（問い合わせ：井上武史 086-251-7389）